

ぼうはん栃木

発行
(公社)栃木県防犯協会
栃木県風俗環境浄化協会
宇都宮市昭和3-2-8
電話 028(666)7700
FAX 028(666)7738



撮影場所／足利市

青少年の非行・被害防止全国強調月間

7月1日(月)～7月31日(水)まで



「防犯マスコット」
©SUSUMU MATSUSHITA ENTERPRISE



風俗環境浄化協会
シンボルマーク

No.182号

みんなで つくろう 安心の街

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

七月二日(月)～七月三日(水)

毎年七月は、「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です。

平成三〇年中の県内における非行少年の検挙・補導人員は三九二人と統計史上最少を更新し、最も少年非行が多かった昭和六〇年の約一五分の一となっております。

しかしながら、少年非行の約九割を占める刑法犯少年の再犯者率は、ここ数年三割を超え、高止まりの状況であり、少年を取り巻く非行情勢は依然として厳しい状況にあります。

また、被害の状況についても、SNS等を通じて被害に遭った少年が全国で過去最多を記録する等、少年が被害となる性犯罪事件が後を絶ちません。加えて繁華街を有する大都会では、女子高中生等によるマッサージュ、会話やゲームを楽しませるなどの接客サービスを売り物とする、いわゆる「JKビジネス」が登場し、アルバイト感覚の安易な気持ちから性被害に遭うケースが増加しています。

このため、夏休みを迎え、解放感から少年たちの気が緩みがちになるこの時期に、家庭、学校、地域及

び警察が一丸となり、青少年の非行・被害防止に取組む必要があります。警察では、「非行少年を生まない社会づくり」を目指し、県民の皆様方と連携して、次の取り組みを推進して参りますので、ご協力をお願いいたします。

① 広報啓発活動の推進

県民の皆様方が、青少年の非行・被害防止、健全育成及び有害環境の浄化等に取り組んでいけるよう広報啓発を推進します。

② 有害環境浄化活動の推進

事業者等に対して、未成年者への酒類・たばこ販売等の防止、青少年の深夜立入制限の要請等、青少年を取り巻く有害環境浄化活動を推進します。

また、青少年を有害情報から守るため、児童が使用する携帯電話・スマートフォン等のフィルタリング導入や家庭でのインターネット利用のマナー向上を目指します。

③ 地域ぐるみの補導活動

少年サポートセンターや少年指導委員、学校等関係機関、地域住民と連携し、未成年者の飲酒、喫煙、深夜はいかないなどの不良行為の早

期発見・補導活動に努めます。

④ 各種相談の充実強化

少年や保護者からの相談に対応し、適切な対策が講じられるよう学校への出張相談室「あしたルール」の開設や電話相談「コーナー」やングテレホンにより、少年や保護者が相談しやすい環境づくりを進めます。



○ 水難事故の防止

平成三〇年中、県内では五件五名の水難事故が発生しました。いずれも七月から九月の期間に発生し、五名とも亡くなっております。

発生場所は、五件すべてが川で、そのうち四件が釣り中の事故でした。夏の時期は、水に親しむ機会が増えますが、川遊びの際には特に注意が必要です。

水難事故を防ぐため、次のことを守りましょう。

- ・ 事前に現地の天候や水量などを確認し、その場に適した服装を揃え、体調を整えましょう。
- ・ 魚釣りや水遊びをする際は、必



水や山の事故を防ぎましょう

- ・まず、ライフジャケットを着用しましょう。
- ・子どもの水の事故を防ぐため、ライフジャケットやヘルメットを着用させ、保護者が同伴して、絶対に目を離さないようにしましょう。

- ・「遊泳禁止」の看板が設置された場所では、絶対に水遊びや水泳をしない、させないようにしましょう。

- ・危険な場所での水遊びを見かけたら、声を掛けてやめさせましょう。

- ・川の上流でゲリラ豪雨等の大雨が降ると、雨の降っていない下流でも急に増水することがあるので、こまめに気象情報を確認しましょう。

○山岳事故の防止

平成三〇年中、県内では四〇件四四名の山岳事故が発生し、二名が亡くなり、二六名が負傷、一六名が無事救助となりました。

七月と八月の夏山シーズンには、七件の山岳事故が発生しました。主に登山、山菜採り、溪流釣り中の事故で、原因は、滑落、転倒、道迷い、疲労等によるものです。

山の事故を防ぐため、次のことを守りましょう。

- ・登山する山の実態や登山ルートを事前によく調べ、各自の経験・技術・体力を過信せず、自



らに適した山を選び、余裕を持ったスケジュールを組みましょう。

- ・登山届受理システム「コンパス」等により、必ず「登山計画書」を提出し、家族等にも登山の予定日時やコースを知らせておきましょう。

- ・単独登山は、ケガをした時に救助を求めることができない場合もあるので、できるだけ複数で登り、「ヒトッコ」など山岳遭難時のサポートサービスなども活用しましょう。

- ・登山に適した服装や防寒ウェア、雨具を必ず携行しましょう。

- ・携帯電話や無線機等の通信手段をはじめ、食料、地図、コンパス、ヘッドライト、予備バッテリー等十分な装備を携行して日暮れ前には下山しましょう。

- ・悪天候時や体調不良時等には、無理をせず登山を中止し下山する勇氣を持ちましょう。

栃木県防犯協会女性部
痴漢撲滅キャンペーンで
広報活動

県防犯協会女性部は、去る六月三日(月)朝に、ＪＲ宇都宮駅で実施された「痴漢犯罪撲滅キャンペーン」に参加しました。

これは、電車内における痴漢犯罪の被害防止のため警察、防犯協会及び鉄道事業者等が協力し、痴漢犯罪防止の広報活動を実施することにより痴漢犯罪撲滅の社会気運の醸成を図ったものです。

当協会の女性部は、警察本部生活安全企画課員、ＪＲ宇都宮駅員、高校生等とともに同駅構内において鉄道利用者等に対し、啓発用ポケットティッシュを配布しながら広報活動を行いました。



「花の日」
幼稚園児からプレゼント



六月四日(火)、宇都宮市の「さくらんぼ幼稚園」の園児と先生一三名が栃木県防犯協会を訪れ、職員に対し花束のプレゼントがありました。

同園では、毎年「花の日」に日ごろお世話になっている人たちに花を贈り、感謝の気持ちを表すこととしており、この日の訪問となりました。当協会では、幼児誘拐防止係の樋口指導員が、心をこめて作った「ピカチュウのリーフ」と「紙風船と巻き取り」セットをお礼としてプレゼントしました。

令和元年度
栃木県防犯連絡協議会
連合会定例理事会の開催



栃木県防犯連絡協議会連合会は、去る六月六日(木)、栃木県警察本部において、令和元年度定例理事会を開催しました。

理事会では、永島会長、警察

本部山口生活安全部長のあいさつの後、役員の一部選任がありました。今回は、白石副会長の辞任に伴い、川口副会長が就任し次の新布陣となりました。

- 会長 さくら地区
- 永島 信男
- 副会長 宇都宮中央地区
- 峰岸 和正
- 真岡地区
- 鈴木 義恵

栃木地区

川口 廣俊(新任)

続いて生活安全企画課の谷田部課長補佐から「県内の治安情勢と地域安全活動の推進状況」について説明がありました。

また、討議・意見交換では、防犯連絡所の運営方策等について、活発な意見交換が行われました。

寄付金付自動販売機設置のお願い

1 趣旨

「犯罪のない明るい街づくり」を推進することを目的に、自販機会社、設置事業所、防犯協会が協定を結び、売り上げの一部を犯罪抑止、環境浄化活動、青少年の健全育成等の地域防犯活動を支援する費用とするものです。

2 特徴

当協会が設置する自販機は、上部に設置したメッセージボードに犯罪情報や災害情報等を発信することにより

- 地域の犯罪抑止力や環境浄化の向上
- 地域の人々の防犯意識の向上
- 高齢者の保護啓蒙、青少年の健全育成などの面で、その効果が期待できます。

また、災害が発生した場合は、遠隔操作で解錠を行い、飲料水を無償で提供します。



寄付金付自動販売機の設置例

連載マンガ「カメ子ちゃん」

本当に宅急便ですか？

木村 晃代作



地区防だより

広報活動の実施

日光市では、今市・日光警察署管内それぞれの防犯協会連絡協議会で、安全で安心な街づくりのための活動をしているほか、日光市防犯協会として、広報紙「防犯日光」の発行や啓発物品の作成、配布等を行っています。平成30年度は、「イカのおすし」の標語にちなんだクリアファイル、鉛筆を新小学1年生に配布しました。

スクールバス運転手に防犯講習

さくら地区防犯協会では、本年6月17日、神奈川県川崎市内で発生したスクールバス停留所における殺傷事件を受け、さくら市教育委員会と連携し、さくら市のスクールバスの運転手に対し、防犯講習を実施しました。

スクールバスに配備された特殊警棒の使用方法等、110番通報要領等について講習し、通学路の子ども



日光市防犯協会

さくら地区防犯協会